

# ラベンダー通信 Vol.2

編集・発行 PTA通信広報委員会



地球はボクらのフィールドだ!：国際交流(中等部)



東海大学西村副学長を迎えて：新環境教育(中等部)



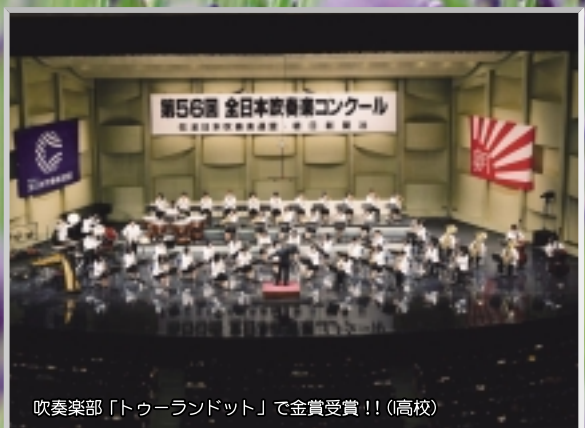
カイルアビーチ最高!：ハワイ語学研修(中等部)



Yes, we can!!：野球部春季大会全道優勝!(高校)



久住書房の看板娘!?: インターンシップ(高校)



吹奏楽部「トゥーランドット」で金賞受賞!!(高校)

※ラベンダーの写真は東海大学札幌キャンパスに咲いたものです。

# 昨年度より PTA専門委員会がスタート

## PTA専門委員会活動内容



### 第2号の発刊にあたり

東海大学附属第四高等学校・中部  
PTA会長 沖 弘文

まずは、広報委員会を始めとした各委員会の皆様方へこの1年間の活動に感謝・御礼申し上げます。

各委員会はご存知のとおり、任意にお集まり頂いた保護者で運営されています。全員が集まらなくてもお互いの時間を有効に活用し、この1年間の活動が行われてきました。

ここに第1号に負けず劣らない第2号が発刊できたことは、素晴らしいことです。

このラベンダー通信をごらん頂き、より一層保護者の皆様のお力添えをPTAに注いで頂きたく存じます。

今後とも東海大四PTAをなにとぞよろしくお願い申し上げます。

### 文化委員会

… 広報担当 中川 晴代

文化委員会は10月14日に環境施設見学を実施いたしました。

行きのバスの中では東海大四校のエコプロジェクトの報告を聞き、子供たちの真剣な取り組みや活動を改めて知る事で、そのあとの見学も有意義なものとなりました。北清企業株式会社では、産業廃棄物のリサイクルに進んだ新技術を取り入れて商品化したエンプラスターラインの製造工程などを見て、午後はジャパンサイクル株式会社に行きました。ジャパンサイクルでは、外食産業の有機性廃棄物を資源循環し、安全な製品として有機堆肥や固形燃料を造り、環境や温暖化に貢献出来るモデルセンターでした。全員コートと長靴に履き替えて見学しましたが、家に帰っても臭いが消えないほど強く、吃驚してしまいました。しかし、こうした企業があるおかげで、地球環境が守られているのだと思いました。普段ファミリーレストランやファーストフードを利用していても、その廃棄物の行方については知らなかったため、大変良い勉強になりました。



### 厚生委員会

… 広報担当 長尾 秀子

厚生委員会では今年度よりペットボトルのキャップ回収を始めます。キャップ800個で20円の利益が上がり、ポリオワクチン一人分のお金となります。

この活動で「世界の恵まれない子どもたちへのワクチンを」と考えています。

詳しくはPTA専門委員会ホームページにアップしておりますのでPTAの皆様も一度目を通しただき、是非ご協力をお願いします。



↑  
回収BOXは各教室と職員室にあります。  
↓



### 広報委員会

… 広報担当 鈴木富美枝

今年度の広報委員会は昨年に続き「ラベンダー通信 Vol.2」の発行とPTAのホームページ立上げに向け活動しました。特に、ホームページについてはPTAの水嶋さんの協力をいただき、沖会長や文化・厚生両委員会からの情報をいただき、素敵な第一号をアップできました。今後はホームページを通してPTAの情報交換等の場となることを目指し、「ラベンダー通信」同様楽しんでいただけたらと願っております。

まだ目にしていない方は是非一度開いてみて下さい。カワイイ(?)沖会長がお出迎えしてくれます。

# 四高・四中を支える 同窓会会長 本間さん 突撃レポート

前回に引き続き「なかなか知ることの出来ない四高」の一面にスポットをあて、今回は同窓会長の本間雅実氏にインタビューをお願いしました。



本間さんの写真を見て、皆さんは「どこかで見たことが……」なんて思っていないですか？入学式・卒業式では壇上に着席され、建学祭での食堂で餅つきをしている姿に見覚えがあると思います。



そして毎日通学している皆さんならこのバスはよく見かけるでしょう。本間さんが経営される幌南運輸の「KONAN」と書かれたこのバス。吹奏楽部をはじめとする各部活動・学校行事・PTA活動にいたるまで「四高の足」といえるほど大変お世話になっています。

## 本間さんのプロフィール

昭和30年生まれ 第8期生  
東海大学文学部広報メディア学科卒業・少林寺拳法部所属  
大学卒業後 お父様の経営される(有)幌南運輸に入社  
現在は代表取締役  
私生活では3男1女の父(もちろん4人とも四高卒です)  
7年前に奥様を亡くされてからは子育てにも奮闘  
掃除・洗濯・お弁当作りまで家事全般をこなす  
スーパーお父さんです

### ■どんな四高生でしたか？

●附属校の特権を生かし高校生活を楽しんでいました。  
楽しみながら希望の学部・学科に進むことが出来たことに感謝しています。  
皆さんも大いにこの特権を生かしてほしいと思います。

### ■当時の四高は？

●建学祭・体育大会など何をするにも先生と生徒が一体となって、「やる時にはやる」という姿勢がありました。  
熱い時代でした。

### ■今の四高生に言いたいことは？

●もっと元気に勉強・部活・生徒会等を頑張ってください。私達の先輩である1期生、2期生は今の駐車場の石を拾って体育の授業を受けるグラウンド作りから始めました。  
何でも与えられるのではなく、自分達で一つ一つ伝統を作っていたのです。  
先輩達の苦勞を知り、四高生の誇りを持ってほしいと思います。

### ■四高に望むことは？

●これからも四高を愛し続けている卒業生を大切にしてください。一緒に学校を支えていきましょう。

## 本間さんの取材を終えて

本間さんの四高生を見守る姿勢には深い愛情を感じます。保護者としても感謝の思いでいっぱいです。吹奏楽部の大切な楽器の扱いでは、吹奏楽連盟からの表彰を受けています。  
そして野球部をはじめとする運動部の大会、遠征の選手の移動など、いつも大活躍です。  
自らもバスを運転し、ある時は選手を叱咤激励する姿は正に四高の応援団長です。  
本間さん、いつまでも四高・四中を見守っててください。

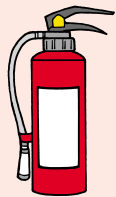
# 卒業生インタビュー

## 各界で活躍している卒業生を紹介

石狩消防署 予防課 危険物係 勤務

にしかわ ま ゆみ  
西川 真弓さん

昭和51年生まれ  
29期生



### プロフィール

西川さんは両親の影響もあり子供の頃から"身体を動かす公務員"になることが目標でした。その目標が揺らぐことはなく東海大四高校の理数コース(現在の特進コース)に入学、卒業後は札幌市以外、道内では初の消防署女性職員として採用され、現在地域の防災や人命救助などに活躍しています。

Q 東海大四高校ではどんな高校生活を送りましたか？

中学から始めたバスケットを続けたかったのですが、特進コースだったので勉強と部活の両立は無理と考えやめました。サッカー部のマネージャーに誘われましたが、"やるなら真剣にやりたい"と思い断ったら、先生が地元的女子サッカークラブを紹介してくださり、今でも続けています。

Q 仕事のどんなところにやりがいや楽しさを感じますか？

自分の仕事はサービス業だと思っています。消防署というと近寄りやすい印象がありますが、緊急性のないことでも親身になって応えることが大事だと思っています。「古い花火を使っても大丈夫?」「消火器はどこで買うの?」など小さな疑問や困った時に頼りにしていただいているので、その信頼に応えるように努力しています。消防署職員として熱意を持って仕事をしています。



Q 人生のお手本になった人はいますか？

今の道に進むにあたり、家族など身近な人の影響は大きかったですね。家族だけではなく、学生時代の友人や先生などにも恵まれていたと思います。

Q 後輩の中高生に一言

人生は一度きりです。後悔しないこと、"今できること""今でなくては出来ないこと"を大切にしたいと思います。



・編集後記・ 広報委員長 土井 浩子

広報委員会は中等部・高校の保護者有志が集まって、昨年発足しました。広報の経験者も未経験者も、自分が楽しんでやれることを何か手伝うという姿勢でスタートしました。第1号は手探り状態でしたから、発行できたこと自体にとっても感動しました。今回第2号の発行にあたり、前回同様たくさんの方々にご協力をいただきまして、ありがとうございました。取材を進めていく中で楽しい経験ができましたし、委員みんなの気持ちやまとまって、出来上がりも良くなったと思います。

また紙面と同時進行で、学校のホームページの中にPTAのページを作って、そちらでもPTAの活動を報告することができるようになりました。私たちのできることは小さなことですが、生徒や保護者、学校関係者の皆さんのお役に立てれば幸いです。来年は第3号を予定しています。ほんの少しのお手伝いさん、いつでも募集中です。



編集スタッフ/広報委員一同・松木先生  
印刷/株式会社 エーシーピー